

器具の洗浄とバイオフィルム

- もし、給与する直前の生乳あるいは代用乳の細菌汚染のチェックをしていないのであれば
すぐに行ってください。バイオフィルム（細菌の膜）は私たちの容器で徐々に発達します。私たちは、そのフィルムがある汚染濃度をはるかに超えてしまうまで目で確認することができません。たとえ、少ない汚染でも、毎日それらを給与することによって、代用乳の量を増やそうとする7-12日齢での持続的（恒常的な）下痢を導いてしまいます。

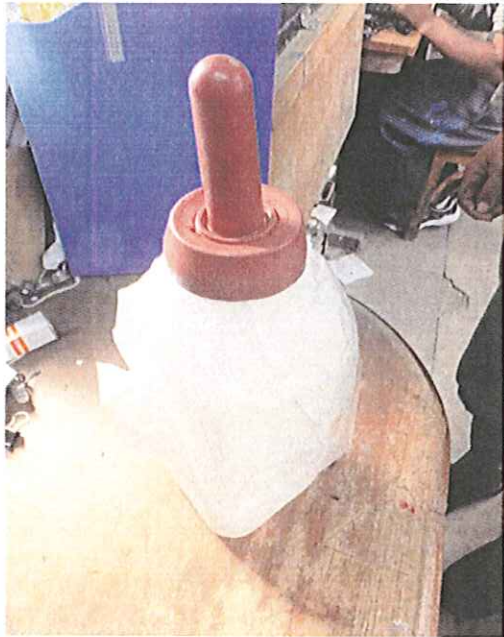
Sam Leadley 2006

図1

しかしながら、この容器のなかの洗浄は、かなりの手間と時間を要するのが現状です。

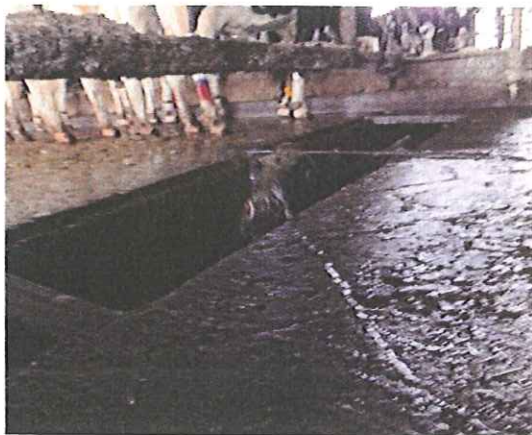
この問題を解決するのに一つよい方法を紹介します。以前にも当社S獣医師が紹介したことがあるかと思います。これはI農場さんのアイデアで、写真は、N農場さんのものです。容器にポリ袋（使い捨て）を利用することによって、ミルクの汚染を防ぐと同時に、洗浄に要する手間や時間、費用を削減することが可能です。もちろん、しっかり洗浄することが基本ですが、「場合の手？」として、極めて有効と思われます。以下の写真を見てください。





ミルクは完全に容器から隔離されます。ナイスですね。

2) 農場の一コマ



この牛は、こんな状態でも余裕で反芻をしていました。(笑)

黒 崎

お願い：

9月、10月と診療が忙しくご迷惑をおかけすることもあり申し訳ありません。当社では酪農家さんの都合を第一にその時間帯などに配慮した往診をしていますが、一方で酪農家さんからの受付時間帯が定まらず、往診スケジュールにも不合理が生じ、急患対応への遅れや獣医師の負担増につながってしまっています。往診：薬品に対する受付がなるべく早い時間帯に終わっていただけるようご協力をおねがいするしだいです。 黒 崎